

ゴールドGマーク
認定事業所特集

20年もの長きにわたり安全輸送を継続

長期認定の証となる「ゴールドGマーク」

貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク制度）では、2023年度に6回目更新となる1052事業所が「長期認定事業所」として「広報とらつく」では、ゴールドGマーク認定事業所を訪問し、ゴールドGマーク認定取得に至るまでの長年にわたる事故防止対策等を紹介しました。今回は、東京都練馬区の㈱大蔵（代表取締役大蔵匡）本社営業所を紹介いたします。

株式会社大蔵 本社営業所（東京都練馬区）

「決してGマークを失ってはならない」
事故防止に向けドライバーへの指導に注力



代表取締役
大蔵 匡

㈱大蔵は、精密機械や医療機器等の重量物輸送のほか、それらの据付・設置にかかわる建設工事などを行う運送会社である。Gマーク制度は平成15年7月に、全国貨物自動車運送適正化実施機関（全日本トラック協会）による認定・公表が始まったが、同社がGマークを取得したのは同制度開始初年の15年のことである。先代社長が、同社が

「制度開始当初からの

複数人で慎重に運ぶ精密機械や医療機器
事故に繋がりにくい過積載を未然に防ぐ

同社では、輸送する精密機械や医療機器などの重量に応じて複数人のグループで輸送にあたる

おり、基本的にはドライバー1人で乗務することはない。特に大きな機械や多くの機器を運ぶ際には、同社に所属する20人のドライバー全員で着荷主先まで向かうこともあるという。

医療機器の輸送にあたっては、細心の注意を払う必要がある。特にCT（コンピュータ断層撮影）機器などは重心が高いため、輸送時のわずかな揺れでも倒れてしまう危険性がある。そのため、トラックへの積み込みの際には、医療機器に傷を付けないように、周囲のスペースを十分確保してトラックの荷台に積載した上で、倒れないようにしっかりと固縛する必要がある。また、積み降ろし



同社はクレーン付きトラックやパワーゲート車を多く保有し、精密機械や医療機器等の重量物輸送などを手がけている



点呼時のアルコール検査の徹底を通じて飲酒運転防止を図っている



同社のトラックには「長期安全認定」の文字が入ったゴールドGマークステッカーが輝いている

安全性優良事業所として、長年にわたり事故防止に取り組んできた当社としては、「Gマークを失うようなことは決してあってはならない」と考えています。当社ではドライバーに対して、Gマーク事業所とは何か、どうすれば認定されるのか、そのために何をすればよいのかを説明するとともに、日頃からそれらを念頭に置きながら乗務に当たるよう指導を徹底しています」（大蔵社長）

や据え付けに際しては、複数人のドライバーが協力し合いながら、慎重に作業を行う。トラックで重量物を輸送する際には、スピードを控えめにすること、ブレーキをかけること、十分な車間距離を取るなど、安全性の高い運転操作を行うよう指導を行う。

さらに、同社では過積載に対して特に注意を払っている。医療機器輸送の場合には、機器の重量が分かっているため過積載の心配はないが、建設関係の業務で使用する足場などの部材輸送の場合には、部材1つひとつの重量は、それほど重くないものの、まとまった数になると、

新人ドライバーを育てる「先輩の助言」
飲酒運転を防ぐためアルコール検査を徹底

同社では、ドライバーの採用に当たっては業界経験者を問わない方針を採っている。入社当初は精密機械や医療機器の据付作業にあたってもらったため、トラックの運転に必要な運転免許を取得していない人も採用することがあるという。新人ドライバーが入社すると、同社ではまず普通免許でも運転可能なウゴン車に乗務してもらい、実地指導を行いながら、入社3か月を目途に準中型免許を、

その後中型免許を取得してもらおう。また、フォークリフト、小型移動式クレーンや玉掛けの資格も取得してもらおう。前述の通り、同社では輸送の際には、基本的にグループで作業にあたる人が多い。まだ仕事に慣れない新人ドライバーの周りにはいつも先輩ドライバーがいて、先輩ドライバーが積極的に助言を行うことで、新人ドライバーが仕事に早く慣れるという効果がある

という。また、アルコール検査に關しても、作業グループ全員にチェックを実施1か月のうちに1度でもアルコール反応が出たら支給対象から除外する。また、出勤時刻をしっかりと守ってもらうために始まったもので、1か月間で2回以上遅刻した場合、支給対象から除外する。当社のドライバーは自家

用車で出勤します。出勤後のアルコール検査でアルコール反応が出たという場合は、酒気帯びの状態で自家用車を運転してきたということになり、プロドライバーとしては失格です。点呼時のアルコール検査の徹底を通じて、飲酒運転防止を図っています」（同）

バックアイカメラを活用して接触事故を防止
ドライバーを守った「後方の録画データ」

同社ではGマークを取得後、全車両にバックアイカメラの搭載を開始。現在は、広角レンズを使用し、広範囲の映像が記録できる機種を採用している。併せて、4トクレーン付きトラックでは、バックアイカメラにより、車両後方も録画ができるようにした。

「過積載は法令違反であり、ドライバーや事業所に対して厳しい罰則が科せられます。また、事故を引き起こす危険性も高まります。当社では安全性の高い運転操作の励行とともに、過積載防止についてもハード・ソフト両面から指導を強化しています」（同）

取得後には被った追突事故でも、車両後方を録画していたことで同社のドライバーの過失がないことを証明することができたという。大蔵社長は、この時の経験から、車両後方の自動車の動きを確認し、記録しておくことの重要性を強く認識したという。なお、同社ではバックアイカメラも全車両に搭載済みである。

「ゴールドGマーク」はドライバーの誇り
気持ちを「層引き」締めて無事故に挑む

Gマーク取得から長年にわたり、安全運行の実績を積み上げてきた同社は、同社における輸送の安全の確保に対する取り組みが、高評価され、令和元年度に安全性優良事業所として表彰された。令和5年度に安全性優良事業所として表彰された。令和5年度に安全性優良事業所として表彰された。令和5年度に安全性優良事業所として表彰された。

で、当社のドライバーも自分たちの仕事に対して、より大きな誇りを感じてほしい。長期認定事業所になったのを機に、今年度も事故防止対策を「層強化していきたいと考えています」（同）

「長期認定事業所として認められたのは、日々安全運転に専念してくれたドライバーのおかげだ」と考えています。事故防止に向けたこれまでの取り組みが評価されたこと

「長期認定事業所として認められたのは、日々安全運転に専念してくれたドライバーのおかげだ」と考えています。事故防止に向けたこれまでの取り組みが評価されたこと

会社概要

(株)大蔵

【代表取締役 大蔵 匡】

本社営業所 東京都練馬区谷原4-20-29

設立 昭和37年5月

資本金 1,000万円

従業員数 25人(うちドライバー20人)

車両数 20台

作業スペースが狭い

ウイングが片側しか開けられない

2024年問題の一つ
荷役作業のタイパ向上!
ドライバーの負担軽減!!

解決

お客様の声から商品化しました!!

コロ付き
パレット引っぱり棒

品番 7311000000

型式 PKR300

価格 17,800円 (税込19,580円)

●全長: 1,078mm ●材質: スチール
●耐荷重: 300kg ●自重: 7kg

NEW

2024年問題の解決をサポート

パーマンショップ大阪店
2024年2月14日
東大阪市長田東にOPEN

TEL.06-6753-8555

パーマンショップ大阪店
〒550-0021 大阪市西区川口4-1-15
ご注文電話 0120-202-800

グリーン経営認証で環境にやさしい取組を!

認証取得後 8トン以上のトラックで 3.1%の燃費向上、車両故障件数 20.9%減少。
交通事故発生件数 25.9%減少など (グリーン経営認証取得による効果・2022年版より) 環境改善にとどまらない効果。

グリーン経営認証制度とは:

グリーン経営は、国土交通省の「環境行動計画」の施策となっている環境マネジメントシステムです。その認証制度は、グリーン経営推進マニュアルに基づき環境問題に取組む事業者(トラック、バス、タクシー、倉庫、港湾運送、旅客船、内航海運)を、当財団が第三者認証機関として認証登録するものです。

対象業種	日時	会場	主催	問合せ先
トラック バス・タクシー	6月27日(木)	13時30分~16時30分	栃木県トラック協会 本館 研修室(2階) 栃木県宇都宮市八千代1-5-12	関東運輸局
トラック バス・タクシー	7月下旬(予定)	—	オンライン	中部運輸局
トラック バス・タクシー	8月 7日(水)	13時30分~15時30分	オンライン	九州運輸局
トラック バス・タクシー	8月下旬(予定)	—	千葉県内	関東運輸局
トラック バス・タクシー	8月下旬(予定)	—	滋賀県内	近畿運輸局

講習会は、エコモ財団の担当者がグリーン経営について説明します。既に認証登録をされている事業者の皆様も参加も可能です。
※講習会開催日の約1か月前より参加者募集を開始する予定

グリーン経営ホームページ <https://www.green-m.jp/>

「認証基準」、「取組事例」など 詳細は [グリーン経営](#) で 検 索

公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル10階
(略称: エコモ財団) ☎03-5844-6276 <https://www.ecomo.or.jp>